

平成21年1月26日

各位

『FFG調査月報2月号』発行について

1月26日(月)、経済調査誌『FFG調査月報2月号』を発行いたしましたのでお知らせいたします。

今月のメインレポートは、「九州における太陽光発電産業の可能性」と「地域経済の現状と見通し(福岡県、熊本県、長崎県)」の2本です。

なお、FFG調査月報はFFG三行の営業店の窓口配置しております。

【メインレポート】

産業調査 「九州における太陽光発電産業の可能性」

現在、世界的なエネルギー消費の増加に伴い、地球温暖化などの様々な問題が発生しており、そうした諸問題に対する解決策として、新たなエネルギー源である「太陽光エネルギー」に注目が集まっています。太陽光発電産業は、世界的に景気が低迷している現在でも右肩上がりの成長を続けています。また、九州においては、ここ数年、太陽電池製造工場が相次いで立地するなど活発な動きが続いており、新たな主要産業の一つへと発展しつつあります。

そこで、今回は太陽光発電の産業としての概要を紹介した上で、九州における太陽光発電産業の発展の可能性について考察しています。

地域経済調査 「地域経済の現状と見通し(福岡県、熊本県、長崎県)」

今回の地域経済調査では、3県(福岡県、熊本県、長崎県)の企業に対し、2008年の景気動向及び09年の景気見通しについての意識調査を実施し、その結果をまとめています。

1. 08年の景気と09年の景気見通し

08年景気、8割強が『悪化』局面と判断

08年の景気については、「緩やかに悪化」54.5%、「急速に悪化」30.1%と、スピード感に差はあるものの、**8割強の企業が景気は悪化したと認識**している(図1)。

ただし、悪化したとする認識の割合は熊本県が最も高く、次に福岡県、長崎県と、県によって悪化の認識には微妙な違いがみられ、特に「急速に悪化」の割合をみると、熊本県38.2%、福岡県32.6%、長崎県25.3%と、熊本県において08年の県内景気を厳しく捉えている割合が高くなっている。

09年も景気後退が続くと予想

09年の景気見通しについては、08年と比べて「やや悪くなる」が43.8%と最も多く、次いで「悪くなる」が37.0%と、景気が悪化したとする08年に引き続き、**09年はさらに景気が悪化する**という見方が強くなっている(図2)。

悪化懸念が強い熊本県、回復感が乏しい長崎県

「悪くなる」の回答割合を県別にみると、熊本県が47.3%と最も高く、長崎県34.9%、福岡県34.4%と続いている。一方、「(やや)良くなる」の割合は、**福岡県が5.5%**、熊本県が3.6%であるのに対し、長崎県は1.7%と、09年の県内景気が回復するという割合が最も少なくなっている。

2. 09年の景気に悪影響を及ぼす要因

09年景気への懸念材料、45.2%が『個人消費』の動向と回答

09年の景気に悪影響を及ぼすと考えられる要因(全22項目中上位10項目)についてみると(表1)、**製造業では「原材料価格(44.4%)」、非製造業では「個人消費(48.6%)」が、それぞれ最大の要因**となっている。また、「原油価格(36.0%)」の上昇に対する懸念も依然として根強い他、製造業では金融不安の発端となった「米国経済(32.4%)」の悪化が4位と、注目度が高くなっている。

「公共事業」の動向が景気悪化の要因として順位が高い長崎県

5位には「公共事業」がランクしており、長崎県で4位と上位に位置(熊本県6位、福岡県7位)し、順位を押し上げた。建設業における公共工事への依存度が高いことなどから、「公共事業」の動向が景気の悪化要因と結びついているものと考えられる。

(3) 業界別の景気見通し

【福岡県】

08年業界景気、悪化が8割。09年は製造業での景気回復に期待

08年の所属業界の景気を業種別にみると(表2)、製造業では、原油及び原材料の高騰の影響が大きかったこともあり、化学・石油製品や生コンを中心とした**素材型製造業で業界景気が「(緩やかに・急速に)悪化」とする認識が強い**傾向にある。一方、非製造業では、円高の影響で外国人観光客が減少している**ホテル・旅館業や不動産業などで、業界景気が「(緩やかに・急速に)悪化」とする割合が高くなっている**。09年の見通しについては、総じて業界景気が「(やや)悪くなる」とする割合が高いものの、**製造業の多くの業種で「やや良くなる」とする企業が僅かながらあり、製造業が牽引する形での福岡県内景気**の回復が期待される。

【熊本県】

08年業界景気、素材型製造業で厳しい認識。一部業種で09年の業界景気の回復を予想

08年の所属業界の景気を業種別にみると(表3)、製造業では、福岡県と同様、生コンや金属製品を中心とした**素材型製造業において、業界景気が「(緩やかに・急速に)悪化」とする認識が強くなっている**。一方、非製造業では、特に**小売業において、「横ばい」もしくは「(やや)良くなる」とする回答はなく、熊本県の小売業界が厳しい経営環境下にあったことがわかる**。09年の見通しについては、「(やや)悪くなる」が77.3%と、**当面厳しい状態が続くと予想されるが、化学・石油製品や一般機械などでは「(やや)良くなる」とする割合が増加していることから、一部業種では僅かながら回復への光**が感じられるという結果となっている。

【長崎県】

08年業界景気、輸送用機械で回復基調。09年は総じて減速傾向ながら、業種・企業間で格差

08年の所属業界の景気を業種別にみると(表4)、製造業では、海運市況の活況により高操業が続いていた造船業を中心とする**輸送用機械で「(緩やかに回復(27.3%))」とする割合が最も高くなっている**。非製造業では、**建設業で「(緩やかに・急速に)悪化」とする回答が87.5%と最も多く、厳しい環境下にあったことがわかる**。09年の見通しについては、全産業で、「(やや)良くなる」が3.1%(08年比1.4P増)となる一方、「(やや)悪くなる」の割合も73.9%(同3.2P増)となっていることから、各業界の景気が総じて減速傾向の中でも、業種や企業間でその認識には格差がみられるという結果となった。

【アンケートの概要】

「景気動向アンケート」概要

調査時期：2008年10月中旬～11月上旬
調査対象：福岡県内企業998社、うち回答企業221社(回収率22.1%)
熊本県内企業501社、うち回答企業114社(回収率22.8%)
長崎県内企業640社、うち回答企業295社(回収率46.1%)
調査方法：郵送による配布、
郵送・FAXによる回収
調査時期：2008年10月中旬～11月上旬

図1 08年の景気(福岡県、熊本県、長崎県合算)

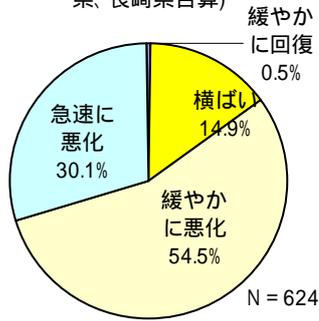


図2 09年の景気見通し(福岡県、熊本県、長崎県合算)

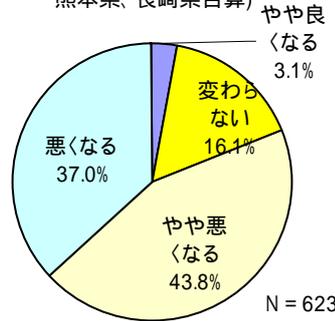


表1 09年の景気に悪影響を及ぼす要因 (単位: %)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全産業 N = 609	個人消費 45.2	原油価格 36.0	原材料価格 35.5	株式相場 28.9	公共事業 27.4	米国景気 27.4	設備投資 16.4	雇用情勢 14.4	ドル相場 11.8	住宅建築 10.7
製造業 N = 216	原材料価格 44.4	個人消費 38.9	原油価格 37.0	米国景気 32.4	株式相場 27.3	公共事業 23.1	設備投資 18.5	雇用情勢 13.4	ドル相場 13.0	中国景気 10.2
非製造業 N = 393	個人消費 48.6	原油価格 35.4	原材料価格 30.5	公共事業 29.8	株式相場 29.8	米国景気 24.7	設備投資 15.3	雇用情勢 15.0	住宅建築 13.2	政権・政局 11.5

表2 福岡県内企業の業界別景気及び景気見通し (単位: %)

福岡県	2008年の所属業界の景気について						2009年の所属業界の景気見通し					
	N値	急速に回復	緩やかに回復	横ばい	緩やかに悪化	急速に悪化	N値	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
全産業	217	-	1.4	16.6	51.6	30.4	217	-	5.1	18.9	46.5	29.5
製造業	94	-	2.1	14.9	58.5	24.5	94	-	8.5	20.2	48.9	22.3
食料品	17	-	-	17.6	70.6	11.8	17	-	5.9	29.4	58.8	5.9
化学・石油製品	6	-	-	-	66.7	33.3	6	-	-	16.7	50.0	33.3
生コン	12	-	-	-	41.7	58.3	12	-	8.3	16.7	33.3	41.7
鋼鉄・非鉄	14	-	14.3	14.3	50.0	21.4	14	-	7.1	14.3	64.3	14.3
金属製品	15	-	-	26.7	46.7	26.7	15	-	6.7	20.0	46.7	26.7
一般機械	13	-	-	30.8	53.8	15.4	13	-	7.7	15.4	46.2	30.8
電子部品・電気機械	12	-	-	8.3	75.0	16.7	12	-	25.0	8.3	50.0	16.7
輸送用機械	5	-	-	-	80.0	20.0	5	-	-	60.0	20.0	20.0
非製造業	123	-	0.8	17.9	46.3	35.0	123	-	2.4	17.9	44.7	35.0
建設業	40	-	-	12.5	40.0	47.5	40	-	2.5	10.0	37.5	50.0
卸売業	20	-	5.0	15.0	55.0	25.0	20	-	-	10.0	65.0	25.0
小売業	21	-	-	28.6	57.1	14.3	21	-	4.8	33.3	38.1	23.8
不動産業	9	-	-	-	66.7	33.3	9	-	-	11.1	66.7	22.2
運輸・倉庫業	12	-	-	41.7	25.0	33.3	12	-	-	33.3	33.3	33.3
ホテル・旅館業	10	-	-	10.0	40.0	50.0	10	-	-	20.0	40.0	40.0
サービス業	11	-	-	18.2	45.5	36.4	11	-	9.1	18.2	45.5	27.3

表3 熊本県内企業の業界別景気及び景気見通し (単位: %)

熊本県	2008年の所属業界の景気について						2009年の所属業界の景気見通し					
	N値	急速に回復	緩やかに回復	横ばい	緩やかに悪化	急速に悪化	N値	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
全産業	109	-	0.9	13.8	46.8	38.5	110	0.9	4.5	17.3	37.3	40.0
製造業	43	-	-	16.3	34.9	48.8	43	2.3	7.0	16.3	34.9	39.5
食料品	8	-	-	12.5	50.0	37.5	8	-	-	-	62.5	37.5
化学・石油製品	6	-	-	50.0	16.7	33.3	6	16.7	-	50.0	-	33.3
生コン	5	-	-	-	40.0	60.0	5	-	-	-	40.0	60.0
金属製品	5	-	-	-	40.0	60.0	5	-	-	20.0	60.0	20.0
一般機械	12	-	-	8.3	33.3	58.3	12	-	25.0	8.3	25.0	41.7
電子部品・電気機械	1	-	-	-	-	100.0	1	-	-	-	-	100.0
輸送用機械	6	-	-	33.3	33.3	33.3	6	-	-	33.3	33.3	33.3
非製造業	66	-	1.5	12.1	54.5	31.8	67	-	3.0	17.9	38.8	40.3
建設業	19	-	-	5.3	42.1	52.6	19	-	-	10.5	31.6	57.9
卸売業	8	-	-	25.0	62.5	12.5	8	-	-	37.5	50.0	12.5
小売業	9	-	-	-	55.6	44.4	9	-	-	22.2	22.2	55.6
不動産業	9	-	11.1	22.2	44.4	22.2	9	-	11.1	11.1	33.3	44.4
運輸・倉庫業	8	-	-	12.5	75.0	12.5	9	-	-	33.3	55.6	11.1
ホテル・旅館業	5	-	-	20.0	40.0	40.0	5	-	-	20.0	20.0	60.0
サービス業	8	-	-	12.5	75.0	12.5	8	-	12.5	-	62.5	25.0

表4 長崎県内企業の業別景気及び景気見通し

(単位: %)

長崎県	2008年の所属業界の景気について					2009年の所属業界の景気見通し						
	N値	急速に回復	緩やかに回復	横ばい	緩やかに悪化	急速に悪化	N値	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
全産業	297	-	1.7	27.6	46.5	24.2	295	-	3.1	23.1	41.0	32.9
製造業	87	-	4.6	36.8	36.8	21.8	87	-	6.9	27.6	36.8	28.7
食料品	16	-	6.3	43.8	31.3	18.8	16	-	12.5	25.0	43.8	18.8
繊維製品	4	-	-	-	100.0	-	4	-	-	-	100.0	-
窯業	4	-	-	-	25.0	75.0	4	-	-	-	25.0	75.0
土石	15	-	-	40.0	33.3	26.7	15	-	13.3	26.7	26.7	33.3
鉄鋼・非鉄	5	-	-	60.0	40.0	-	5	-	-	40.0	40.0	20.0
金属製品	11	-	-	54.5	36.4	9.1	11	-	-	27.3	54.5	18.2
一般機械	8	-	-	25.0	50.0	25.0	8	-	-	12.5	25.0	62.5
電気機械	3	-	-	66.7	-	33.3	3	-	-	100.0	-	-
輸送用機械	11	-	27.3	36.4	27.3	9.1	11	-	9.1	45.5	27.3	18.2
その他製造業	10	-	-	20.0	40.0	40.0	10	-	10.0	20.0	30.0	40.0
非製造業	210	-	0.5	23.8	50.5	25.2	208	-	1.4	21.2	42.8	34.6
漁業	7	-	-	57.1	28.6	14.3	7	-	-	42.9	14.3	42.9
建設業	40	-	-	12.5	52.5	35.0	39	-	5.1	15.4	33.3	46.2
卸売業	50	-	2.0	22.0	54.0	22.0	50	-	-	16.0	54.0	30.0
小売業	38	-	-	18.4	47.4	34.2	37	-	-	16.2	48.6	35.1
運輸・倉庫業	22	-	-	22.7	45.5	31.8	22	-	-	27.3	45.5	27.3
不動産業	9	-	-	33.3	55.6	11.1	9	-	-	22.2	33.3	44.4
ホテル・旅館業	15	-	-	26.7	60.0	13.3	15	-	6.7	33.3	26.7	33.3
サービス業	28	-	-	35.7	50.0	14.3	28	-	-	25.0	46.4	28.6
その他	1	-	-	100.0	-	-	1	-	-	100.0	-	-

その他にも、次のような記事を掲載しております。

< トップに聞く >

FFG3行取引先の経営者に、ご自身の「経営理念」と企業の「セールスポイント」をお聞きしています。

高田 文雄 氏 (株式会社 トライ・アム サンカクヤ 代表取締役社長)

守田 憲行 氏 (株式会社 出雲総業 代表取締役)

塚本 敏 氏 (製缶陸運 株式会社 代表取締役社長)

< しーず君の研究室訪問 >

福岡大学・三島先生

大学から生まれた研究成果(大学発シーズ)を紹介しています。第1回は、マイクロカプセルという高分子カプセルを作り出す装置を開発されている、福岡大学の三島先生にお話を伺っています。

< 経営情報 >

2009年度税制改正～中小企業関係税制を中心に～

09年度税制改正の概要について、中小企業関係税制を中心に、野田税務会計事務所の野田 武史 所長にご説明いただいています。

< 海外レポート >

中国の外貨管理制度

中国における外貨管理制度の変遷と、08年8月の「外国為替管理条例」の概要及びその影響についてレポートしています。

<<本件に関する問い合わせ先>>

株式会社 FFGビジネスコンサルティング 企画調査部(担当)横尾、島浦
電話: 092-723-2576 FAX: 092-761-8846